

30年以上にわたる国際交流の集大成。

いよいよ「国際探究コース」が始まります。



これまでも様々な国の高校生が本校を訪問してきました。

外国の文化があふれ、グローバルな雰囲気育ててきた東邦高校は、

30年以上にわたる国際交流の経験をもとに、来春、国際探究コースを開校します。

本コースでは、留学を必須とせず、

居ながらにして世界の多様な文化や地球課題を学びます。

未来の地球社会を、持続可能で幸せにあふれた場所にするために、

世界中の人と手を携えられる人を育てます。

TOHO HIGH SCHOOL

めざすのは、未来の地域社会を担う人

01

世界が抱える
課題の本質を理解し
解決できる人

02

文化の多様性を
受け入れる社会を
実現できる人

03

他者の声に耳を傾け
新たな考えを
生み出せる人

東邦ならではのカリキュラム

世界が抱える問題と向き合う

「世界遺産」から地域固有の課題や地球規模の問題を見出し、様々な国の立場にたって考える「模擬国連」にも挑戦します。

英語でプレゼンテーションする

2年次に英検2級、3年次に準1級を取得し、最終的に自分の考えを論理的に英語でプレゼンテーションできるようにします。

日本語の豊かな表現で伝える力を養う

フィールドワークを通してコミュニケーション能力を高め、自分の考えていることを正確に伝えられる表現力を身につけます。

学校説明会



10/27(日) 9:30▶11:30

※インターネット事前申込が必要です

入試説明会



11/30(土) 9:30▶11:30

※インターネット事前申込が必要です



東邦高等学校
TOHO HIGH SCHOOL

〒465-8516 名古屋市名東区平和が丘三丁目11番地

<https://www.toho-h.ed.jp>

星ヶ丘駅より徒歩15分／一社駅より徒歩12分

TEL:052-782-1171(代)

イベント参加
申込詳細は
こちら



来年度よりiPadを 新入生全員に導入します。

東邦高校では、これまでの教育をさらに進化させ、ICTを活用した高品質指導へと生まれ変わります。ICT学習を生かすために学習デバイスとしてのタブレットが不可欠となる時代がやってくる中で、生徒一人当たり1台のiPadを用意して、生徒一人ひとりに最先端の教育を実践します。

教育のICT化とは？

ICTとは、Information and Communication Technologyの略称で、情報通信技術を意味します。特に教育の分野においては、

●黒板→電子黒板 ●教科書→電子教材 ●ノート→タブレット(パソコン) ●辞書→インターネット

などのように、IT機器を利用して授業が行われることです。教育現場へのITやインターネット導入はもはや不可避な状況となっており、ツールとしてのICT活用法を学校教育のどの段階で学べるかが、保護者にとっても大きな関心事となってきました。

ICTの特性・強み (中央教育審議会より)

- ①多様で大量の情報を収集、整理・分析、まとめて表現することなどができ、カスタマイズが容易であること
- ②時間や空間を問わずに、音声・画像・データ等を蓄積・送受信できるという時間的・空間的制約を超えること
- ③距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりができるという双方向性を有すること

近年、多くの公立私立学校の授業にICT機器の導入が進んでおり、それを取り入れたICT教育が開始されています。ICTがさらに革新し社会に浸透するほど、基礎知識を生かしてその先にあるものを追求できる創造性のある人材が求められていきます。そのために、社会に出る前の学校教育の充実が重要視されています。



学習eポートフォリオ

ポートフォリオとは、直訳すると「書類入れ」「折りかばん」など書類をまとめるもの。これを従来のような紙ベースではなく、データとして管理するのが『学習eポートフォリオ』です。

たとえば、探究活動などでレポートを作成する際、完成された成果物だけでなく、完成までに受けた指導などの途中経過とともに保存していくことで、どういったプロセスで自身の課題が解決されたかを可視化することができます。また、そのプロセスを振り返ることにより、次の学習へも応用することができます。このサイクルを繰り返していくことで、さまざまなことに対応できる学習能力や学び続ける力が養成されます。

「何を学んだか？」を効率的に振り返ることができ、いつもの学習の深化につながる。

東邦高校では

入学時から計画的にeポートフォリオを作成し、自らの高校3年間の学習過程やその成果を体系的に整理・保存していきます。これは新しい大学入試の中で必要とされるものの一つであり、実際の入試に大いに役立て活用することができます。

Portfolio



ロイロノート・スクール

公立私立の小中高等学校、大学や塾で1000校以上に導入されているソフト。生徒からの人気も高く、授業支援ツールとして利用されています。生徒たちが考えるのを助け、その考えを人に伝えることができるのが『ロイロノート・スクール』です。

たとえば、ロイロノート・スクールを使えば、先生から生徒への一方通行の授業ではなく、生徒たちがアウトプットしていく双方向授業を簡単に実現できます。これまで挙手による発言で限られた生徒の意見しか聞くことができなかったのが、生徒それぞれの意見やアイデアを即時に共有できることから、授業を深化・発展させていくことができます。生徒自身も授業に参加しているという実感が高まり、積極的な意見交換の場となり得ます。

「みんなは何を考えているのか？」が分かることで刺激され、思考力の深化につながる。

東邦高校では

様々な機能を持つロイロノートスクールを活用し、**自らが中心となり行動する、新しい授業形態**がスタートします。

Loilo Note School



クラッシー

全国の高校のうち、3校に1校が導入しているという、対面授業が主役のデジタル学習ツール『Classi』。授業・学習コンテンツ、生徒カルテ、コミュニケーションの3つの機能で、生徒ごとに最適な学習指導を実践することができます。

たとえば、教師は授業前に自宅などで予習できる動画教材を配信し、授業後にはオンラインで理解度の確認演習を生徒に配信。そこから得られる個々の生徒の回答結果データを分析することで、次に取り組むべき問題を生徒ごとに最適化できます。生徒は授業前に事前にポイントを理解した上で授業に臨むことができ、総復習から大学受験対策まで合計約2.5万本の動画コンテンツも視聴できます。他にも、生徒1人ひとりの理解度に合わせて最適な問題を出題してくれる「ウェブテスト」や、学習・指導履歴を管理する「生徒カルテ」など、盛りだくさんの機能で支持されています。

「自分は何をすべきか？」が明確になり、学習活動の効率化につながる。

東邦高校では

学校生活から日常生活まであらゆる場面で活用し、学習活動のすべてをサポートしていきます。また、学校生活の様子やいろいろな情報を保護者と共有することができます。

Classi